



【相談の様子】

今年度から社会福祉法人けやきの職員で社会福祉士の資格を持つ齋藤知佳さんを地域包括支援センターの一員として迎えて、高齢者の困りごと相談に対応しています。

●総合相談・権利擁護・虐待防止
高齢者に必要なサービスや制度の利用に必要なお手伝いをします。高齢者の権利擁護や虐待防止についてもご相談ください。

地域包括支援センターでは、高齢者の総合窓口として次の事業などを行っています。



高齢者の暮らしのことで悩みがあったら、まずは地域包括支援センターに相談！



【介護予防事業利用者の声】

佐藤久一さん・喜代さん夫妻
(助川町内会)

最初は痛かったが、参加するにつれ調子が良くなってきました。片足立ちのタイムも良くなってバランス力も付きました。仲間と一緒にすると楽しいので、もっと続けたいです。



【介護予防事業スタッフの声】

本村 伸一さん

(介護老人保健施設ほのか介護福祉士)
運動器の機能向上事業では、筋力の低下を防ぎ、日常の動きが楽にできるよう、ストレッチやバランス体操を行ったり、運動器具を使用し、体力アップを目指します。



【介護予防事業】

運動器の機能向上として、介護老人保健施設ほのかで筋力トレーニングやストレッチを行います。

●介護予防ケアマネジメント
介護保険で要支援と認定された方へのケアプランの作成のほか、介護予防が必要と思われる方に、運動器の機能向上や口腔ケア等の事業を紹介しています。

お問合せ先

地域包括支援センター(役場健康福祉課内)

☎ 35-7031



【介護予防研修会】

介護予防の普及啓発のために、講師を招いての講話や、介護予防体操などを学びます。



【認知症サポーター養成講座】

認知症の方を支えるサポーターを養成するため、寸劇を交えて認知症を理解するための活動を行っています。

●認知症サポーター養成・介護予防普及啓発
認知症サポーター養成講座は、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を見守る応援者を増やす目的で開催しています。また、高齢期を元気で過ごすための介護予防研修会等を開催しています。



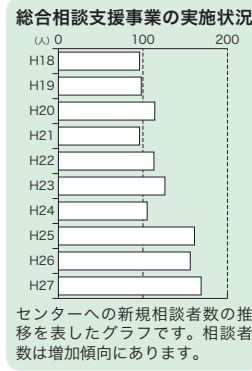
設立から10年 今だから
地域包括支援センターをもっと知ろう

地域包括支援センターとは

高齢者の方が自分らしく、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための包括的・継続的支援(地域包括ケア)の総合窓口です。

地域包括支援センターは、高齢者の暮らしを地域でサポートするための拠点として、介護だけでなく福祉、健康、医療など様々な分野から総合的に高齢者とその家族を支える機関です。

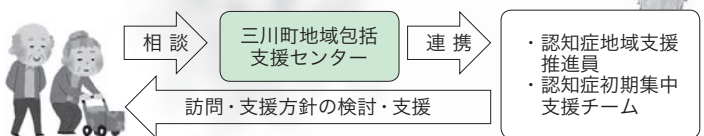
三川町地域包括支援センターには、保健師・社会福祉士が配置されています。高齢者本人や家族、地域住民の悩みや相談を、地域包括支援センターが中心になって適切な機関と連携して解決します。



～トピック～

認知症高齢者にやさしい地域づくりを目指して

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるために、地域包括支援センターでは今年度から「認知症総合支援事業」を開始します。これは、認知症の方やその家族をより早期に支援するため、医師や看護師等の複数の専門職がより身近に支えるものです。



地域包括支援センターは平成18年度に役場健康福祉課内に設立されました。それから10年。今回は地域包括支援センターの役割と現状について紹介いたします。